

科目名称	基礎看護技術Ⅰ（基本技術）	学年学期	単位数	時間数
		1学年前期	1	15
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

基礎分野Ⅱと統合分野の基盤となる看護技術として看護活動に共通する基本的看護技術を原理・原則（目標達成・安全・安楽）を踏まえて習得する。

【2】学習目標

1. 人間を対象とする看護技術の特殊性を把握し、看護師として必要な能力について説明できる。
2. 人間の相互関係を成立させる為の基本的なコミュニケーション技術について説明できる。
3. 患者と看護師双方にとって安全で安楽なケアを実践するためのボディメカニクスの原理・原則を理解することができる。
4. 療養生活の環境を整える構成要素を理解し、病室・病床の環境を調整することができる。
5. 患者にとって安全で快適な療養生活を送れるようベッドメイキング、リネン交換が実施できる。
6. 感染防止の基本を理解し正しく実践できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☐ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護技術の概念	講義
2	対人関係に必要なこと	講義
3	コミュニケーションスキル①	講義・演習
4	コミュニケーションスキル②	講義・演習
5	感染防止の技術①	講義
6	感染防止の技術②	学内実習
7	療養環境とボディメカニクス	学内実習
8	筆記試験・まとめ	講義

【5】評価方法

以下の方法で総合的に評価する。

- ① ペーパーテスト（80点）
- ② 演習および課題（20点）

【6】教科書

茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(2) 基礎看護技術Ⅰ（第19版）医学書院 2025（電子版）
 任和子他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(3) 基礎看護技術Ⅱ（第18版）医学書院 2025（電子版）

【7】参考書

授業内で提示する。

【8】受講生へのメッセージ

既習の知識やこれまでの看護経験を活用しながら学びを深めていきましょう。